

国指定史跡 網野銚子山古墳 発掘調査報告書を発刊しました

令和6年4月3日
京丹後市教育委員会



京丹後市では、国史跡「網野銚子山古墳」の発掘調査報告書『網野銚子山古墳－整備事業に伴う発掘調査Ⅱ－』を発刊しました。

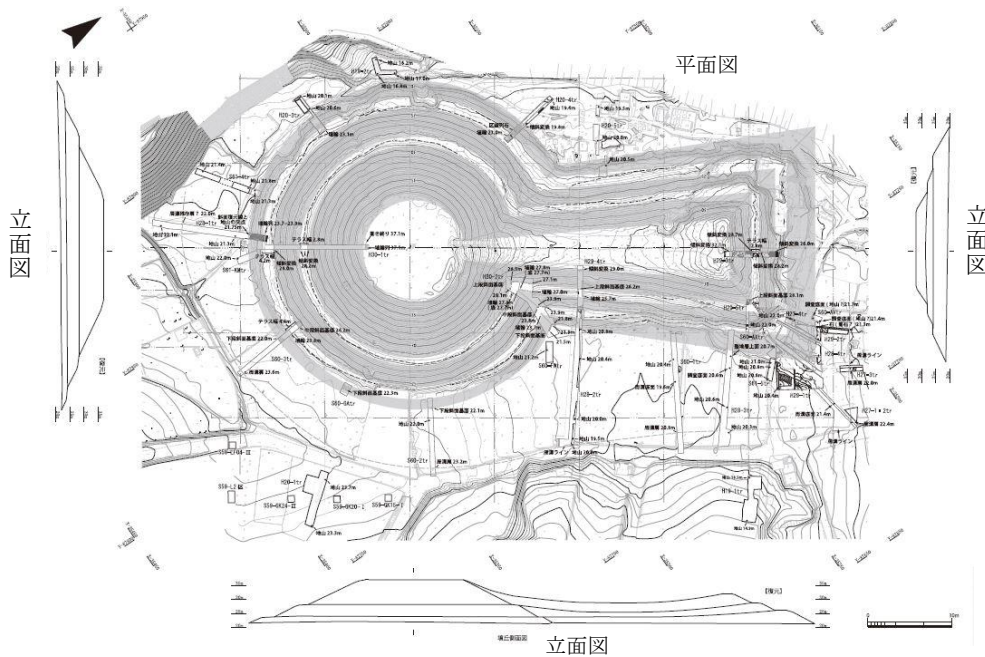
網野銚子山古墳は、日本海側最大規模を誇る墳丘の長さが201mの前方後円墳であり、更なる活用を目指して整備事業を実施し、令和7年度初めにオープン予定です。本報告書は、整備工事の基礎データ（墳丘の大きさや古墳の残存状況など）を得るために平成29年度から令和2年度にかけて発掘調査を行った4カ年の成果になります。

- 書名 『網野銚子山古墳－整備事業に伴う発掘調査報告書Ⅱ－』京都府京丹後市文化財調査報告書 第26集
- 発刊日 令和6年3月29日
- 総ページ数 216ページ（うちカラー24ページ）
- 内容
- ・平成29年度から令和2年度までの概要報告（第9～11次発掘調査）
 - ・平成29年度から令和2年度までの出土遺物（埴輪・土器等）の説明と写真
 - ・墳丘長201mの墳丘の復元と赤色立体地図※の掲載
 - ・3つの視点から外部の専門家が分析
 - 「墳頂部の物理探査」「葺石・礫敷石の石材」「埴輪及び関連資料の蛍光X線分析」
 - ・京丹後市史跡整備検討委員会委員による考察
 - 「古墳の設計と佐紀陵山古墳の比較」「古墳築造の謎とその存在意義」
- 配布先 市内各図書館・図書室、府立図書館等でご覧いただけます。
（今後、市ホームページにて公開を予定）



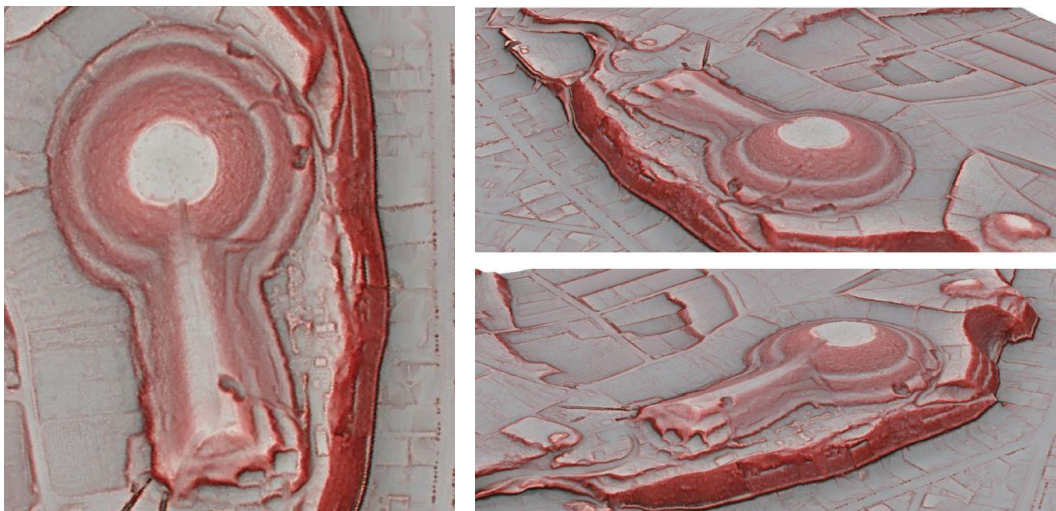
<お問い合わせ先>
京丹後市教育委員会事務局
文化財保存活用課
電話 0772-69-0640

復元された網野銚子山古墳の平面図・立面図



赤色立体地図で表現される網野銚子山古墳の姿

報告書には、網野銚子山古墳の赤色立体地図も掲載しています。
立体的に見えるこの地図を活用し、今後の古墳の活用に活かしていく予定です。



※赤色立体地図とは… 地形の立体表現手法の1つで、国土地理院の「地理院地図」でも公開されているアジア航測の特許技術である。地形を可視化する手法の1つ。色の濃淡等で傾斜や平坦面などを表現し、どの方向から見ても立体的に見える地図のことである。赤色でなくても立体地図は作成可能だが、立体感が最も表れる色として赤色が利用されている。

墳頂部のレーダ探査結果

墳頂部では地中物理探査を実施しました。
結果、中央付近に石材とみられる反応がありました。埋葬施設の可能性があります。
その他、墳丘主軸で行った電気比抵抗探査の結果も紹介しています。

